

令和2年度科学研究費助成事業「新学術領域研究（研究領域提案型）」に係る中間評価結果

領域番号	5001	領域略称名	西アジア都市
研究領域名	都市文明の本質：古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究		
領域代表者名 (所属等)	山田 重郎 (筑波大学・人文社会系・教授)		

(評価結果)

A－（研究領域の設定目的に照らして、概ね期待どおりの進展が認められるが、一部に遅れが認められる）

(評価結果の所見)

本研究領域は、都市主導型の文明が最も早く高度に発達した西アジア地域に焦点を当て、都市の発生と変容、都市環境と人間社会の相互作用や都市の諸機能を、史資料に照らして実証的に解明しようとする意欲的な研究である。

都市文明という広大なテーマを展開している点が評価できる。また、西アジアの都市についての調査の進展により、知見の深まりが認められる。政情不安やコロナ禍が重なり、現地調査が困難な状況が続いていると思われるが、リモートにより発掘の進行を進めるなどの、前向きかつ建設的な対応がなされている。このような工夫の中から、ひいては現地と日本を結んだ新たな発掘の形態が提案されることを期待したい。

今後は、今年9月に導入された分析機器を有効に活用しながら、領域代表者のリーダーシップの下、都市文明という全体テーマの解明に向けて、更なる研究の進展を期待したい。